

温泉合宿 2010 夏（期間：2010 年 8 月 21 日（土）～2010 年 8 月 28 日（土））

#### 活動場所

秋田県仙北市、鹿角市 岩手県八幡平市 宮城県大崎市

#### 活動目的

前人未湯（未踏）の温泉（鉱泉）を探す。今年の春、今回の合宿に向けて多くの秘湯、野湯に入浴してきた。活動場所に東北地方を選んだのは、活火山が数多く存在し、一般の人が踏み入ることのできない地域が多い為である。今までの経験から近くに地熱発電所があると野湯が多いことがわかっていたのでそれも考慮した。中国地方、四国地方は 2008 年の夏に探査し、温泉を見つけることができる可能性は低いと判断した。九州地方、近畿地方、関東地方の山々は人の出入りが盛んな為活動地域として選択しなかった。

自然は変化するもので、温泉の湧出が止まったり、新たに湧出したりもする。日本には人の踏み入っていない場所が無いが、入浴していない温泉はある。我々はそのような温泉を探しに行った。

#### 隊員

田中 優 3 回生 委員長 O 型

2008 年の温泉合宿から参加。沖永良部島洞窟探査、知床半島縦走、富士山清掃などに参加。常時ふざけている。

玉本 拓巳 3 回生 副委員長 B 型

2008 年の温泉合宿から参加。北アルプス縦走、八甲田山とうい、知床半島縦走などに参加。筋肉が好き。炭酸飲料が嫌い。

玉城 智也 2 回生 次期委員長候補の一人 B 型

今年の春の温泉合宿から参加。無人島（ツブラ島）、屋久島縦走などに参加。ポン・デ・ライオンに似ている。

益岡 環 1 回生 女 B 型

今回の合宿から参加。丹沢大山歩荷、他登山系の合宿に参加。本が好きらしく図書館と合体したいらしい。入部当初からこいつはヤバイと先輩達に思われていた。

## 報告

8月21日（土）9時、東海大学からレンタカーで秋田県仙北市玉川温泉に向けて出発した。到着は23時、その後登山し非難小屋に泊まるつもりだった。予定通り到着したが、運転手の田中、玉城の疲れが激しく登る気になれなかったなので近くのビジターセンターで一泊。

8月22日（日）深夜2時に起床し、そこから焼山にある鬼ヶ城火山口に向かう。2時間30分登山し目的の場所に到着したが、霧が濃い。視界が悪く、よい入浴ポイントを探すのに時間がかかってしまった。ガスマスクを装着し、入浴し始め15分くらいで終了し下山を開始する。下山が完了すると霧は晴れていた。その後、次の探査ポイント焼山北側のトキワ沢に向かったが道がなく車が入れず歩くのも面倒くさいので、次の大湯沼に向かう。大湯沼は完全に観光地化されており、とても綺麗な景色が見られた。その後、大谷地に向かい探査したが、ただの草原だった。十和田道の駅にて就寝。

8月22日（月）5時頃起床し八幡沼へ向かう。この日も霧が濃く視界は不良。沼はとても綺麗だったが温泉がある気配はない。早々に切り上げ次へ向かう。黒谷地湿原は藪に囲まれた木道が延々と続くだけのハイキングコースだった。まだお昼だったので、ゆっくりと次の目的地黒湯温泉へ向かう。明日探査予定だったが、下見程度に探査しにいくことにした。一般的な登山道を歩く。沢沿いに温泉が湧いていたが、こんなものは我々の求めているものじゃないとさらに奥へ進む。ある場所を田中、玉城が通りすぎた時、玉本が硫黄の匂いがすると言う。辺りを見ても何も見あたらない。しかし、玉本が藪の中へ突っ込んで行くと、草木がまったく生えてない、楕円状に白く濁った液体がたまっている箇所があった。手を入れてみると温かい。ガス検知器を近づけると数十ppm程度のガスが検地できた。温度は40度前後とほぼ適温。そこに踏み入った人がいないと言い切れないが、間違いなくそこで入浴した人はいない。我々は前人未湯の温泉を発見し、目的を達成した。更なる高みを目指して、次の日の午前中まで予定通り探査を続けることにし、午後に発見した温泉を掘り広げ入浴することにした。あるばこまくさと言う道の駅っぽい所で就寝。

8月23（火）5時に起床し、秋田駒ヶ岳の噴気口に向かう。この日も視界は不良。来るまで八合目まで行き、そこから登山を開始した。風が強い、雨も降ってきているが歩き続けると、益岡が放心し始める。心配はしたが大丈夫なので歩き続け噴気口付近に到着したが温泉が湧いている気配はなかったので下山した。そして、午後昨日発見した温泉へ向かう。スコップで掘り広げ一人が入浴するスペースを確保。玉本から入浴し始める、堆積した木の葉の湯船は相当気持ち悪いらしく、お尻をつけることを渋っていた。その後玉城、田中と入っていったが、益岡は入らないらしい。変態だから大丈夫だと思っていたが、残念だ。目的を達成したので本合宿はこれで終了した。